

ときめき

鹿島

2015.1
新春
50号

ポラリス

★ポラリス(北極星)を目指すには北極星を見つけて、目指すところ(方向)は一瞬でもやり方はそれぞれ多種多様。一人一人の思いをエッセイの形で伝えたい。

清水院長のポラリス 院長 清水 保孝

新しい年を迎え、新春のお慶びを申し上げます。

鹿島病院は、過去10年余にわたり、充実した慢性期医療を提供できる病院として、成長進化し、地域から信頼を受ける病院となってきました。しかしながらここ数年間、日本における保険診療の変化に伴い、慢性期病院を取り巻く環境が大きく変化してきております。急性期病院での診療は急性期に特化され、亜急性期の患者さんを慢性期病院で引き受ける時代となってきました。当院でも昨年は回復期病棟を増床して、より早期の回復期患者さんを受け入れるようになり、医療療養病棟でも亜急性期の患者さんを積極的に受け入れて、忙しい1年となりました。単に入退院患者さんの増加のみならず、慢性期医療を寝たきりのまま経過をみるというのではなく、質の高いリハビリ、充実した介護、医療を提供することにより、在宅への復帰をめざし、より質の高い生活ができる患者さんを増やしていくことが、求められています。

回復期、亜急性期を含めた慢性期医療に対して、質の高いリハビリ、介護、医療が提供できる病院として、さらなる発展をしていきたいと思っております。2015年が鹿島病院におきましても、さらなる成長の年になります様、皆様の御協力をお願いいたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

鹿島
病院祝
50号



2015 未年の職員に今年の



常務理事 事務部長
下瀬 宏

今年1月で遷暦を迎えました。私は昭和30年に松江日赤で生まれました。昭和30年は島根県の人口が約93万人でピークだったそうです。今は70万人を切りました。松江市の人口がそのまま居なくなった計算です。60年間の時代の変化を感じます。少子高齢化はこれから更に進んでいきます。このような環境下で鹿島病院の果たすべき役割は益々高まってきますので、「もう一頑張りしようか」と心を新たにしています。



在宅サービス部
坂根 真由美

新年明けましておめでとうございます。いつの間にか4回目の年女がやって来ました。鹿島病院にお世話になってから二回目の年女を迎えることができました。入職当初は、通所サービスでの仕事が私に続くのだろうか？と思っていたのですが、しかし日々利用者様との時間が楽しく、なんと「私、この仕事楽しいわ。」と思える事が出来る様になりました。

新年の抱負を聞かれますと、さて何を抱負としようかと悩みましたが、まずは、「家族の体調管理」ではないかと思えます。

その中でも一番に、小3娘の体調管理です。3歳から始めたレスリングですが、今年の全国大会では絶対に表彰台の一番高い位置へ立つことが出来るよう母親として、食事面・体調面・メンタル面をサポートして行きたいと思えます。

新しい年も、どうぞよろしくお願い致します。



リハビリテーション部
田中 亮

明けましておめでとうございます。私が入職してもうすぐ1年が経とうとしています。現在は多くのご指導を受け作業療法士としての視点が広がっております。今後も「学ぶ」事を忘れずに、勉強会等で得た知識を患者様に提供していけたらと思います。多くの方から「何歳ですか?」という質問があり、お伝えすると驚かれる事が多くあったので、年相応に見られる様若づくりにも励んでいきたいと思えます。今後とも宜しくお願いします。



在宅サービス部
高見 憲

新年の抱負ということでもまず真っ先に思ったことが、「身体を鍛える」ということです。

平成26年はめまい症、腰痛、頸椎症からの痛みで多数の方々にご迷惑をかけてしまいました。そんな時に利用者様や他者の方からの「体はどげなかね」「大事にしないね」等、暖かいお言葉を頂き、嬉しく思ったのと同時にこの言葉は自分が普段掛ける立場でないといけないうのに、と反省させられる言葉でもありました。その度に「もっと鍛えておかなければ」と思いながらも、いざ取り組むとなかなか長続きせず断念していました。今、決意を新たに身体を鍛え直し、皆様方にご迷惑をかけることがないように努めたいと思っております。



リハビリテーション部
福間 美幸

新年あけましておめでとうございます。四月に入職し、早くも一年が過ぎようとしています。社会人になり一日があつという間に終わることに驚いています。仕事、私生活共に充実している証拠ですが、日々実家のご飯が恋しくなります。今年の抱負は、よく食べて寝て健康に過ごすこと。そして常に向上心を持って、気持ちに余裕を持ちながら感謝と笑顔を忘れず仕事に取り組みたいと思えます。



看護部
井上 倫実

新年明けましておめでとうございます。3階病棟所属の井上です。

早いもので平成15年の1月より鹿島病院で勤務させていただくようになってから10年以上が経ちました。

年を重ねる毎に月日の経つのは早いものだと感じています。

さて今年の抱負ですが、毎年のことではありますがひとつには「健康」です。月並みですが私自身体調を崩した時は周囲の方に心配、迷惑を掛け何より自分自身が辛い思いをした経験があります。

「身体」だけでなく「心身」共に「健康」を毎年の目標にしています。仕事を頑張る時には精一杯仕事を頑張る。あそび時は精一杯遊ぶ。メリハリを持って「心身共に健康」な1年にしたいと思っております。

抱負について聞きました。



リハビリテーション部
板垣 陽介

3回目の年男を迎えた現在、仕事にも家庭にも責任が多くなってきました。昨年は思わぬ病気を患ってしまい、特に自分自身の健康に注意を向けられないといけないと実感させられました。なので、今年の抱負は月並みに「健康第一」としておきます。

また、「未」の干支の特徴を調べてみると「穏やかで人情に厚い」とされているようです。せっかくの年男なので気持ちは「未」で頑張りたいと思います。



診療部
矢島 翠

私の今年の抱負は「気づき」です。入職して一年がたち調理をする上で、調理や業務はもちろん様々なことを教えて頂き学びました。

その中で自分がいかに気がきかない、してもらうことになれてしまっている事に気づきました。今は、自分の行動をふり返り確認するように気をつけたり、先の事を考えながら行動したりと気をつけていますが、まだまだ先輩方にはおいつけません。

今年こそは、もっと視野を広くもって「気づき」を増やし自分がしてもらった暖かい思いやりを返していきたいと思っています。



看護部
木野 恵美子

新年明けましておめでとうございます。

今年干支年で定年を迎える年でもあります。21才で九州から松江に来て、いろいろな仕事をしましたが、今の職業が一番自分に向いていたと思います。20年間この仕事に携わって辛い事、苦しい事もありましたが、母の言葉(早くに家を出て親の介護も見て上げれない分患者様を両親だと思い一生懸命お世話をする事)その言葉を、思っ今日まで来ました。これからこの気持ちは変らずこの一年よりいっそう患者様に尽くし介護をしたいと思っています。

今年もどうぞよろしくお願い致します。



診療部
森脇 祐子

新年明けましておめでとうございます。

三人の子供と七人の孫に恵まれ遺言を迎えることが出来ました。更年期を辛年期となるように、これからの人生を送りたいと思います。そして、仕事でもおいしい食事を作って皆様が健康で暮らせますように、努力していきたいと思っています。



診療部
野田 以登子

新年明けましておめでとうございます。

あっという間に人生の折り返し地点を過ぎ、後半戦をどう生きるか考える年齢になりました。振り返るとこれまでの人生は大変幸せな人生でした。もちろん苦難もあり、周りの人に心配や迷惑をかけたことも多々ありました。しかし人生いろいろあって当たり前、その人が幸せだと思えることが一番です。周りに私を幸せだと思わせてくれる人がたくさん存在してくれたことが何よりの幸運でした。

後半戦に入り思うのは、一番は健康に留意すること。自分が幸せであることを感じる毎日過ごすこと。そして周りの人が幸せになれる手助けをすることが出来る人になりたい。ということですね。ときめき鹿島に書いたからには忘れず、心がけていきます。



看護部
杵築 薫

新年明けましておめでとうございます。

今年の目標は仕事ではチームワークを大切にしながら自分自身の能力を高めたり精神的な成長がえきるよう自己啓発に努めていきたいと思っています。

プライベートでは家族との時間を大切にしながら去年できなかった禁煙にもチャレンジしていきたいと思っていますので、今年もよろしくお願い致します。

地域連携室便り 42

今回も前号に引き続き、在宅医療連携推進事業の取組の進捗状況を報告します。昨年11月7日、第4回多職種連携会を行いました。テーマは「各機関の機能と相互関係を明確にする」ということで、出席者は開業医、ケアマネジャー、訪問看護、鹿島病院職員計61名でした。写真はその様子です。



今回は事例をもとに、各機関の役割について話し合いを進めました。事例をもとに話し合うと、具体的な問題の所在がわかって、いつも勉強になります。

事例は次のようなものです。

「96歳の一人暮らし女性。心不全、圧迫骨折などで入退院歴があり、かかりつけ医の往診、訪問看護・介護、民生委員、姪の支援で生活されていました。施設入所は拒まれていました。H26/6自宅で、発熱、脱水発症され、ヘルパーが発見し、担当ケアマネジャーは開業医と相談の上慢性期病院に相談・入院となりました。治療、リハビリを行い一時は回復されたのですが、7月末には食事が取れなくなりました。患者の「自宅で死にたい」、姪の「家に帰してやりたい」という強い希望に添い8月初めから退院準備を進めました。かかりつけ医は盆前に、このような状態の患者の対応をすることは難しいと判断され、かかりつけ医や訪問看護を変更し、8/14在宅介護を再開しました。退院後約2カ月を自宅で過ごし、お亡くなりになりました。」

そこでの話し合いでは、①患者の「自宅で看取ってほしい」という希望がかなえられたこと、②患者

医療相談部
小林 裕恵



の希望を関係者皆知っていて、相互に連絡をとり行動できたことは評価できるという意見が多く出されました。

しかし、その一方、疑問点として、①自宅で最期まで過ごしたいという希望を持っておられたのに慢性期病院への入院は必要だったのか、②かかりつけ医、訪問看護の変更は必要だったのか、③一人で亡くなった事は、それで良かったのか、等の意見が出ました。

その後、開業医と慢性期病院と看取りの関係について、いろいろな話し合いがなされましたが、ここでは、①慢性期病院にすべての患者の最期を任せるとするのは慢性期病院に求められている機能（在宅に帰すための治療を行うこと）や、「在宅での最後」という最近の流れに反するという意見、②開業医にすべての在宅患者の看取りをせよというのはマンパワーの点からも不可能だとの意見が出ました。

また、在宅での看取りと独居の問題に関しては、①独居の場合は施設での看取りというのでは、本人の希望が満たされないという意見、②一人で死んでいくのは良くないというのでは在宅で最期を迎えるのは難しい等の意見もありました。いずれにしても難しい事ですが、今後も症例検討を続ける必要があることを出席された皆さんは感じられたようです。

在宅医療連携のためには、1、地域医療に関係する諸機関の機能と相互関係を明確にすること、2、連携のコーディネーターを育てること、3、住民全体が各機関の機能・相互関係・コーディネーターの働きを理解することが重要です。今回行ったように、具体的な事例をもとに関係者が集まり話し合いをすることで、各機関の相互関係、問題点、その解決の方法などが実質的に明確になっていくと思います。

健康コーナー 豆知識

感染対策の ここがツボ?!

感染対策防止委員会
事務局
看護部
川谷 清美



当たり前前のごとをきちんとやろうが、 感染予防の基本です

当たり前のごとは？標準予防策の遵守に尽きると思います。

標準予防策(スタンダードプリコーション)とは？「耳にたこが出来るほど聞いた」「知っている」と思われますが、おさらいです。

全ての患者さんに対して標準的に行う基本的な感染予防策です。

標準予防策とは、①血液、②汗を除く全ての体液、③分泌物、④排泄物、⑤損傷のある皮膚、⑥粘膜には感染性があると考えて取り扱うことで、未知、既知の感染源から微生物の伝播を予防する対策です。

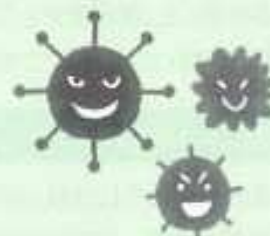
今患者さんに感染症がなくても、調べていないだけであったり、未来に感染症と診断されることだってあるわけです。

具体的にはどうするの？

手の衛生を行うことです。他には手袋やビニールエプロンの装着もありますが、今回は手の衛生について述べます。

では、どのタイミングで行うかですが、5つのタイミングがあります。

- ①患者さんに接する前
- ②処置を行う前
- ③体液が飛び散った可能性があった場合
- ④患者さんに接した後
- ⑤患者さんの環境に接した後



手の衛生は流水と石鹸で手を洗う方法と、速乾性摩り込み式の消毒剤で手を消毒する方法があります。基本、目に見えて感染がない場合は摩り込み式消毒剤で良いです。冬は特に手荒れに注意しましょう。流水と石鹸での手洗いの後はやさしくペーパータオルで水分を取り、ハンドクリームで手を保護してください。手に傷があるとそこからの感染の危険があるからです。

インフルエンザが流行しています。体調管理、手洗い、うがい、マスクの装着など工夫し、この冬を乗り切りましょう。

救急蘇生法の研修をおこないました。

11月25日～28日の4日間計6回救急蘇生法の研修会が行われ、224名の職員が参加した。研修を終えてアンケートを実施し、蘇生法の理解度の質問に対しては、だいたい理解できた。よく理解できた。と回答した職員は205名だった。今後も定期的に研修を開催する予定である。





つうしょテラス

～ 一畑薬師へ行ったよ ～

☆H26.10月のデイサービスは戸外レクを計画し「一畑薬師」へお出掛けをしました。皆さん順番にお参りをし、少し紅葉には早かった様ではありましたが、穴道湖を眼下に見下ろす景色と、一面に広がる山麓の黄色い花を見て楽しまれ、おまんじゅうを頂き、記念撮影もして大変喜んで頂けました。

～ 陶芸教室開催 ～

☆H26.11月は、8月に陶芸教室を行ない、その時に作った作品が焼き上がり、お互いに見せ合っ楽しんでおられました。

今回の焼き物はお皿と小鉢でしたが、紙皿で型どりをし、網目や布巾の絵柄を利用してそれぞれ模様をつけられました。



漫画コーナー

手洗い!!



Y.N

川柳のコーナー

吉岡 花子

- ・人の世の想定外の出来事も
- ・四季の風吹に癒さるる日々よ
- ・寄り添うて一歩又一歩励まして
- ・希望持たせる若き介護士
- ・促さず抱きさるこどなく相抱を
- ・笑顔にもそふ介護の人は



新コーナー

私の パパママ だ～ね?



ゆり 結莉ちゃん

☆ ひなた 陽向くん
はるき 陽壽くん

お知らせコーナー

人事のお知らせ

〇入職

①趣味・特技は何ですか？ ②好きなもの・好きなことを教えてください。
●一言ご挨拶をお願いします。



看護部
濱崎 早苗 ①ドライブ、読書
②めいぐるみ

●12月より勤務させていただいています。病院勤務は初めてで分からない事も多いですが、スキルアップしていきたいと思っています。よろしくお願いします。

〇退職

奥谷裕美(看護部)
渡部有子(医療相談部)
福重知子(看護部)
川上 愛(看護部)
平石 泉(看護部)

平成25年永年勤続表彰対象者

20年	10年	5年
木野 恵美子 看護部	山成 幸子 リハビリテーション科	太田 静子 訪問看護
金山 利恵 看護部	清水 瞳 看護部	曾田 淳子 看護部
		竹下 美幸 看護部
		平石 泉 看護部
		松本 百合子 看護部
		景山 晋一 リハビリテーション科
15年	5年	
渡部 英子 看護部	古瀬 奈保子 在宅サービス部	
佐伯 満 訪問看護	村上 直美 リハビリテーション科	
	可知 秀樹 リハビリテーション科	



私のママママは～ね？

★ 祐莉ちゃんのパパ ★ 陽向くん、陽喜くんのママ

リハ組
高田 穂紗子さん

在宅サービス部
山田 静美さん

公仁会事業報告 9・10・11月

運営者定数指数: 増 化 項 目
リハビリ数

鹿島病院	在宅サービス部	職員数
①外来部門 9月～11月の平均(診療日数67日) 1日平均人数 総来患者数 1,279人 18.1人/日	①選所リハビリ “やまゆり” (稼働日数78日) 1日平均利用人数 通所リハビリ院利用患者数 2,124人 27.2人/日 短期集中リハビリ1棟施設 72単位 0.9単位/日 短期集中リハビリ2棟施設 111単位 1.4単位/日 短期リハビリ実施数 2,123単位 27.2単位/日	職 員 数 職員数(名) 医 師 6人 医 務 師 2人 P、T 20人 U、F 19人 S、T 5人 看護部職員数 81人 臨床検査技師 2人 放射線科技師 1人 社会福祉士 5人 介護支援専門員 6人 介護福祉士 72人 薬剤師 2人 管理栄養士 4人 調 理 員 11人 事務職員 15人 計 27.1名
②病棟部門 9月～11月の平均(診療日数91日) 1日平均人数 ②-1 特殊疾患病棟 (2F) 総入院患者数 5,416人 58.9人/日 VAD(心不全)治療病棟 71人 0.8人/日 リハビリ実施数 2,850単位 31.3単位/日	②鹿島病院 デイサービスセンター (稼働日数78日) 1日平均利用人数 通所介護福利利用者数 1,461人 18.7人/日	
②-2 回復期リハビリテーション病棟 (3F) 総入院患者数 4,204人 46.9人/日 臨床検査リハビリ 14,054単位 154.5単位/日 運動療法リハビリ 13,252単位 146.1単位/日 呼吸療法リハビリ 1,045単位 11.5単位/日	④訪問看護 “いつくしみ” (稼働日数90日) 1日平均利用人数 訪問看護利用者数(通所) 471人 7.9人/日 訪問看護(訪問診療)利用者数 684人 11.4人/日 訪問看護(在宅療養)利用者数 203人 3.4人/日	
②-3 医療療養病棟 (4F) 総入院患者数 5,374人 58.1人/日 臨床検査リハビリ 1,336単位 14.7単位/日 運動療法リハビリ 571単位 6.3単位/日 呼吸療法リハビリ 211単位 2.3単位/日	⑤鹿島病院 やまゆり居宅介護 支援事業所 (稼働日数90日) 1日平均利用人数 昼ケアプラン申込数 143人 48人/月 昼ケアプランサービス数 14人 5人/月	
②-4 在宅入居療養介護 ショートステイ利用人数 0.0人/日		

基本理念

私たちは、仁愛の心をもって「医療と介護サービス」を提供し、地域に貢献します。

基本方針

1. 鹿島病院を中心に地域と連携して、良質な慢性期医療を確立します。
2. 患者様・利用者様の人権を尊重し、思いやりとつくしみの心で接します。
3. 技術や知識向上のため、たゆまぬ努力を行ないます。

行動指針

1. Safety …安全を最優先します。
2. Speedy …変化に能動的に挑戦します。
3. Service …おもてなしの精神で接します。

医療法人財団公仁会中期ビジョン2013

中期ビジョン2013

慢性期医療の確立

1. 病院機能

- (1)慢性期医療の推進
- (2)回復期リハビリテーションの推進と積極的拡充
- (3)特発疾患、回復期、療養病棟の再編成の検討
- (4)医療療養病床平均在院日数135日を目指す
- (5)後発医薬品の使用促進

2. 在宅サービス機能

- (1)在宅サービスの質の向上
- (2)医療、介護関係機関との連携強化
- (3)在宅サービスの評価・検討・組織力強化

3. 医療安全対策の推進

- (1)感染防止対策の活性化
専門的知識のレベルアップ
- (2)医療安全対策の活性化(医療安全、医薬品、医療機器)
専門的知識のレベルアップ

4. 地域連携及び地域貢献

- (1)急性期及び介護保険施設の支援病院としての機能強化
- (2)地域の診療所との連携
- (3)患者退院後の地域連携の確立
- (4)予防医療や介護技術を地域へ普及

5. 高齢者や障害者を意識した施設・設備・環境の整備

6. 継続的な医療サービスの質の改善への取組み

- (1)機能評価の評価に基づく継続的改善活動
- (2)臨床指標(Clinical Indicator)の検討・活用
- (3)患者満足度向上の組織的取組み
- (4)診療録・看護記録等の質の向上

7. エコロジーへの取組み

8. 人材の育成

- (1)職員教育体系の構築
- (2)専門的知識を有するスタッフの育成
- (3)人事評価体系の構築

9. 電子カルテシステムの評価、改善

10. リスクの軽減とリスクへの備え

- (1)組織的なリスクの再評価、再検討
- (2)新型インフルエンザ対策
- (3)原子力災害への対応

患者様・利用者様の権利宣言

平成21年10月1日改定

1. 個人の尊厳

患者様・利用者様は、ひとりの人間として、その人柄・価値観などを尊重されます。患者様・利用者様が自身が意思表示や意思決定できない場合は、ご本人の尊厳を最優先にご家族と当財団のスタッフでよく話し合い決定しています。

2. 平等で最善の医療と介護サービスを受ける権利

患者様・利用者様は、平等で安全に配慮された最善の医療・介護サービスを受ける権利があります。

3. インフォームド・コンセントと自己決定権

患者様・利用者様は、医療と介護サービスに関することについて、わかりやすい言葉や方法で説明を受け、その内容を十分に理解した上で選択・同意し、適切な医療・介護サービスを受ける権利があります。

また医師から提案された医療・介護サービスに同意できない場合は、拒否することもできます。拒否することで不利益をこうむることはありません。その選択にあたっては、他の医療・介護サービス機関の意見を聞く(セカンドオピニオン)ことができます。

4. 情報に関する権利

患者様・利用者様は、当財団で行われたご自身の医療・介護サービスに関する情報の提供を受ける権利があります。

5. プライバシー及び個人情報の保護

患者様・利用者様は、私的な生活を可能な限り他人に侵されない権利があります。医療・介護サービスの提供で得られた個人情報は、個人の秘密として厳守され、患者様・利用者様の承諾なしには開示されません。

鹿島病院臨床倫理の方針

平成22年1月1日改定
(平成22年1月15日 医務委員会)

1. 患者様の人権を尊重するとともに、患者様と医師が互に協力して治療すべきとする医療を確立します。
2. 患者様ご自身が意思決定できない場合は、ご家族と十分に話し合い治療方針等を決定します。

3. 臨床倫理指針は、医学的に妥当で適切な医療を患者様・ご家族の利益のため、義務的に行なうことを前提として決定します。
4. 患者様の苦痛や苦悶を軽減した医療を提供します。
5. 臨床研究は、倫理的審査を行った上で患者様・ご家族の利益に基づき実施します。

ときめき広場



院内活動紹介

★祝17号★ おかもちだより



年に4回、栄養士が様々なテーマを取り上げ発行しております。皆様の知りたい情報、お得な情報を手軽にお届けするという意味で「おかもちだより」と名付けました！20号..30号..と継続していけるよう頑張りますので、宜しくお願いします！

診察室の前に掲示してありますので是非ご覧になって下さい。過去の内容は外来の待合室に置いてあります！

「おかもち」って何だかわかりますか？

近頃、耳にする機会も少なくなっていますね。料理などを運ぶのに用いる、手と蓋(ふた)がついた、平たい桶(おけ)のことを言います。

患者さんへインタビューしました

26年度 餅つき大会

- 病院にいなが餅つきができるなんて思ってもいなかったの、嬉しいよ！
- この鏡餅は上出来だわ～。
- 熱いうちに丸めるのがコツだわね～！！
- 今日は白粉まみれになりました。
- 餅つきも出来た事だしこれで良いお正月を迎えられるわ。



編集後記

皆さんは今年の目標を決められましたか？ときめき広報委員会は今後もよりよいものをお伝えできるように頑張ります！

- ① びこつこつと
- ② みかさねる努力で
- ③ つげんさせよう！今年の目標



事務部 高村仁美

編集・発行・責任者：福利厚生・広報委員会委員長
 医療法人財団公仁会 〒690-0803 鳥取県松江市津島町名分243-1
 e-mail kam@kashima-hosp.or.jp http://www.kashima-hosp.or.jp/
 豊島病院 TEL(0852)82-2627# FAX(0852)82-3064
 訪問看護ステーション(いつくしみ) TEL-FAX(0852)82-2640
 やまゆり居宅介護支援事業所 TEL-FAX(0852)82-2645
 通所リハビリテーション(やまゆり) TEL-FAX(0852)82-2637
 豊島病院デイサービスセンター TEL(0852)82-2627# FAX(0852)82-3064
 印刷元：千鳥印刷株式会社